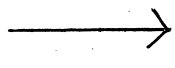


あく へき
曲 癖

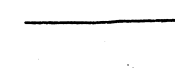


「^{かた}必ず、^むおぼえがたなことをしなす!!」

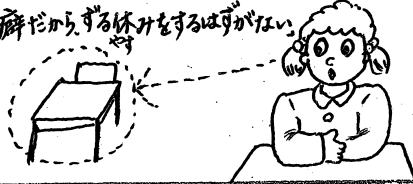


わるいくせ。
よくない^{しゅうかん}習慣。

けつ へき
切 癖

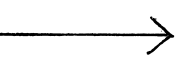


「あの人は潔癖だから掃除をするはずがない」



ふけつ ぶせい きくど
不潔や不正を極度
に嫌うこと

くち ぐせ
口 癖

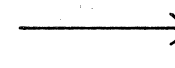


「あのねが口癖の弟」

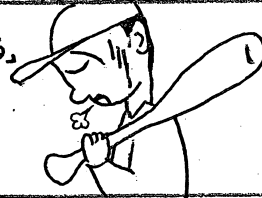


い ぐせ
言いなれて癖のよう
にいつもある言葉。

かん らく
陥 落



「補欠選手に陥落する」



いんい さ
川貞位などが下がること

おちい
わなに陥る

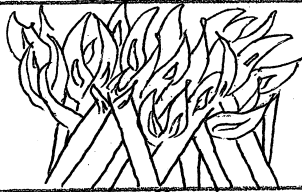
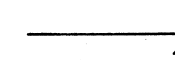


「敵のわなに陥る」



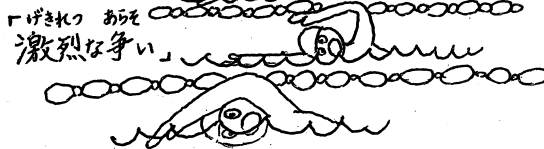
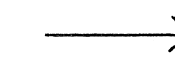
わなにおち=む。

れつ か
烈 火



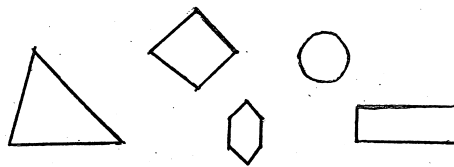
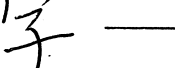
はげ も ひ
烈しく燃える火。

げき れつ
激 烈



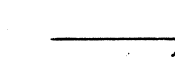
はげ
きわめて激しい
さま。

き か がく
幾 何 学



あうがく いちぶぶん
数学の一部門。

いく にち
幾 日

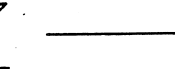


「旅に出かけてから幾日も経った」

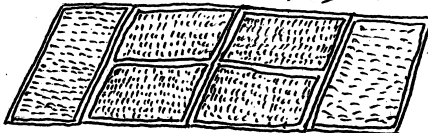


日数を問う語。
いっすう と じ

ろく じゅう
六 畳



「六畳のたたみ」



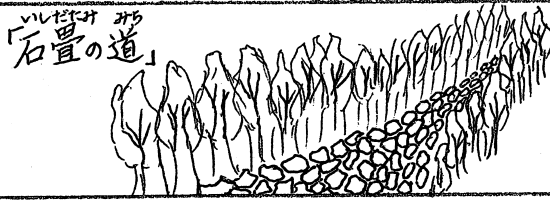
た=たみ1枚で1畳。
た=たみ6枚分の広さ。

服を畳む



おかし
折り重ねて小さくする

石畳



石を平らにしきつめた
ところ。

望次ましがる



人が自分より優れている
よすなどをみて、自分も
そりなりたいと思おうす
お

が雅楽



古代中国を起源と
し、日本、朝鮮、バトナム
などに広く伝わった音楽

優雅



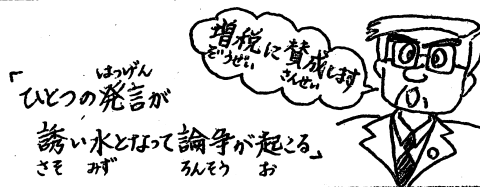
気品があつて美しいこと

誘導



人や物を、ある場所
までよく導くこと

誘い水



ある事柄を引き起す
きっかけとなるもの

丹精



物事を、心をこめて
おこな
行くこと。

丹念



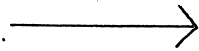
細かい点にまで
注意を払うこと。

依然



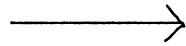
もとのままであるさま。

い ん
依 存



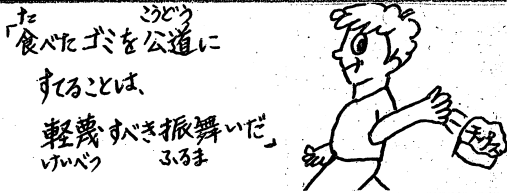
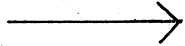
ほか
他のものをたよりとして
そんざいすること。

べっ し
蔑 視



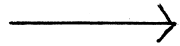
ばかにして みる
見くだすこと

けい べっ
軽 蔑



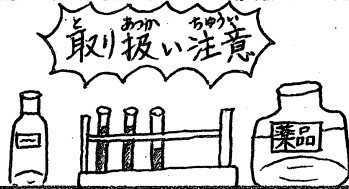
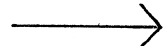
かろんじ あなどること

さげす み
蔑 み



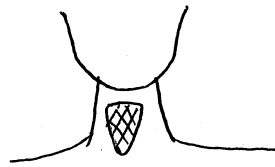
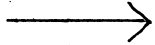
あいて じぶん より下だと
相手が自分より下だと
思っばかにする
お

と あつか
取 扱 い



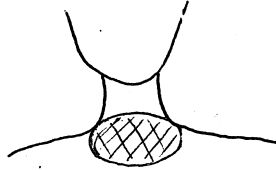
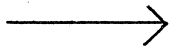
うご つか
動かしたり、使った)所
こと。

こう とう
喉 頭



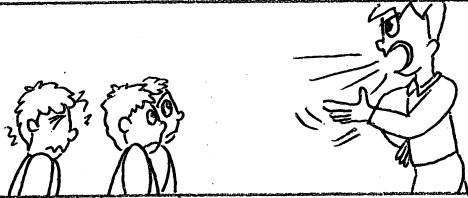
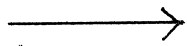
き どう いちぶ
気道の一部

のど もと
喉 元



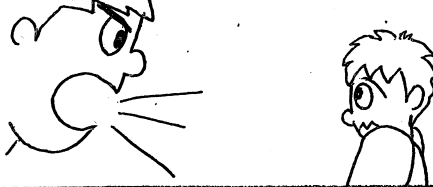
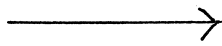
のどの 胸に
近いあたり
ちか

つう ば
痛 罵



ひどくののしること。

ののし り
罵 り

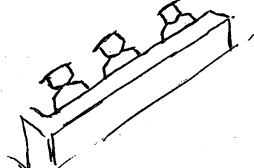


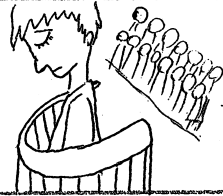
おお こえ
大きな声で、ひどい
わるい い
悪口を言う

だい しょう
代 償




たにん あた そんがい
他人に与えた損害を
それに相当する金品や
つとめ だ
労力を差し出してつぐなう
こと。

^{つみ}罪の^{つぐな}償い → 

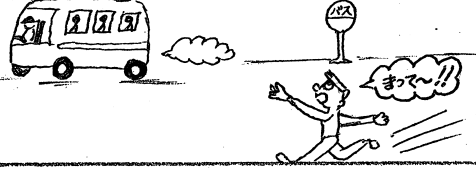


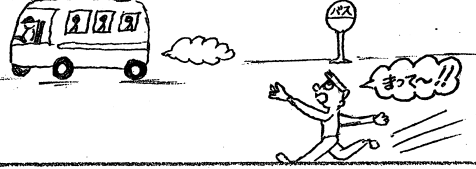
法律などに背く悪い行いに対する理め合せ

^ち遅^{こく}刻 → 




決められた時刻におくれること

^の乗り^{おく}遅れる → 



電車やバスなどの決まった時間や期日にまにあわなくなること。

^{よる}夜^{おそ}遅く → 



日が暮れてから、たいぶ時間がたつた夜のこと。